

羽ばたけ! TUT2023 報告書

2 系 B1 年

参加プログラム名	シリコンバレー アントレプレナーシップ研修
研修期間	2024年 2月 26日 ~ 3月 5日
研修先機関名・所在国	US-Japan Forum・アメリカ
研修の概要 (研修テーマ、課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いて下さい)	<p>目的</p> <ol style="list-style-type: none">1. 起業家や投資家、VCの方々とお話し、起業に関する有益な情報を得る。2. 起業家や投資家、VCの方々に向けて、サークルで取り組んでいる起業の事業内容に関するプレゼンテーションを行い、フィードバックを得る。3. 将来的な長期留学や海外での仕事、今後の人生設計において、明瞭なビジョンを描き、かつ自分自身を成長させるきっかけにする。 <p>研修で達成したこと</p> <ul style="list-style-type: none">・起業とは何か、何が重要かなど、起業にあたっての心得を学んだ。・起業の事業内容に関する貴重なフィードバックを受け、改善が必要な箇所を把握した。・海外での経験の重要性を認識し、海外留学や海外での仕事に対する考え方が以前とは変化した。・近い将来の進路における目標が定まった。・自分の弱点を見つけられた。
活動写真1枚 (修了証の写真でも可)	

羽ばたけ! TUT2022 報告書

研修内容

① 参加の動機・目的

私がこのプログラムに参加した動機は、海外に訪れる機会があれば積極的にそれを利用したいという考えがあったからです。技科大で学部1年生のうちに行ける海外プログラムに、シリコンバレーアントレプレナーシップ研修があり、私は10代のうちに海外に行き、海外の大学院進学や海外での就職など、今後の人生設計を考える上で選択肢を広げる機会にしたかったからです。加えて、私が所属するサークルでは、スタートアップとして起業することを目指し活動していたため、スタートアップの聖地であるシリコンバレーにて、起業家や投資家と対話できれば、プロジェクトを洗練させることができるチャンスだと捉えたからです。

参加した目的（現地での行動目標）は以下の3つです。

1. 起業家や投資家、VCの方々とお話し、起業に関する有益な情報を得る。
2. 起業家や投資家、VCの方々に向けて、サークルで取り組んでいる起業の事業内容に関するプレゼンテーションを行い、フィードバックを得る。
3. 将来的な長期留学や海外での仕事、今後の人生設計において、明瞭なビジョンを描き、かつ自分自身を成長させるきっかけにする。

② 研修内容

- 1日目：オリエンテーション、「米国の歴史と文化」講演会
- 2日目：サンフランシスコ市内観光、カリフォルニア大学バークレー校
- 3日目：Google Inc、コンピュータ歴史博物館、Apple Inc
- 4日目：スタンフォード大学、WiL (World Innovation Lab)
- 5日目：Intel Museum、サンノゼ日系アメリカ人博物館、サンノゼ日本町、研修発表会
- 6日目：フィッシャーマンズワーフ、ケーブルカー博物館、サンフランシスコ近代美術館
- 7日目：サンノゼフリーマーケット、コンピュータ歴史博物館、Rosicrucian Egyptian Museum
- 8日目：サンノゼ州立大学、Idemitsu Americas Holdings Corporation

1～5日目の夜は、プロフェッショナル講演会が開かれ、シリコンバレーで活躍されている様々な職種の方々のお話を聞きました。6～8日目は自由活動日であり、参加者は自分たちでスケジュールを計画し、行きたい場所を訪れました。

③ 研修の成果、研修で獲得したもの

研修の成果として、現地で働く起業家やVCとの対話、そして起業家へのプロジェクトのプレゼンを通じて、プロジェクト内容に関する貴重なフィードバックを得ることができました。また起業とは何か、何が重要かなど、起業にあたっての心得についても学ぶことができました。特に、自分の住む地域や身

の周りの人々が抱えている課題を見つけ出し、それらを解決しようと考えることが起業において一番大事だと学びました。また自分たちのプロジェクトのユーザが本当にそのプロダクトを欲しているのか、彼らが求めていることと自分たちが行っていることに差が生じていないか常に意識することも重要だと理解しました。加えて研修を経て、私はアメリカの大学院進学を目標に掲げました。UCバークレー、スタンフォード、サンノゼ州立大の3つの大学に訪れ、アメリカの大学生が過ごしている様子を観察しました。特に図書館での雰囲気強く印象に残り、熱心に勉学に励み、努力する姿にとっても刺激を受けました。またキャンパスはどこも広く、解放的で、活気に溢れた雰囲気に魅了されました。そのような環境で勉学に励むアメリカの大学生がとても羨ましく、自分もその環境で学びたいと思いました。普段の大学生活では、できない貴重な経験を海外に出れば、たくさん経験できると知りました。これまで消極的だった長期の海外留学や海外での仕事に対する考え方がポジティブに変わりました。またこの他に金に関する勉強が大事であること、海外に行くときは必ずその国の歴史を知っておくこと、自分から積極的にコミュニケーションを取ること、やりたいことがあれば続けること、興味の無いことでも全力で取り組めば面白さを見つけられることなどを学びました。



④ 今後の目標

今後の目標は以下の5つです。

1. 研修で獲得した知見をサークル内で共有し、それらを基にプロジェクト内容の評価を行い、長期的なビジョンやマイルストーンなどを再構築する。
2. 常に周囲に意識を向け、身の回りに存在する課題を見つけ出し、サークル活動とは別に起業できそうなアイデアを探す。
3. 海外の大学院進学を目指し、英語の資格取得に取り組むこと、また目的意識をもって大学での学業に取り組む。
4. スタンフォード大学から着想を得た、アイデアをすぐに形にする作業用スペースを技科大に設ける。
5. 資格取得（日商簿記）を通じてファイナンシャルリテラシーを身につけ、お金と上手に付き合う方法を学ぶ。
6. 長期休みを活用して、海外研修や海外留学に挑戦する。

⑤ その他感想など

今回の研修は短い期間でしたが、多くのことを学びました。この経験は非常に重要であり、人生に大きな良い影響を与えていると考えています。日本に留まるのではなく、海外に出ることで、自分の置かれる環境が大きく変わり、自己成長の機会が増えると捉えています。そのため、チャンスがあれば、長期の留

学を通してさらに成長し、その経験を今後の人生に活かしたいです。また渡米前は英語に自信がなく、現地でのコミュニケーションに不安を感じていましたが、実際には英語での意思疎通はスムーズに行えました。もっと英語を勉強しないと通じないのではと思っていましたが、日常生活では高度な英語力は必要ないことに気づきました。しかし正確に自分の感情や考えを伝えるには、適切な単語を使用することが重要だと感じました。また何度も聞き返すことがあったため、ネイティブの発音を聞き取れるようリスニングのトレーニングが必要であると認識しました。

